

## 秋期講座・オープンカレッジ (対面/オンライン) のご案内

「ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけません。」  
ヤコブの手紙1章21～22節 (新改訳2017)

主の聖名を賛美できる者とされたことを主なる神に感謝いたします

9月中旬を過ぎても、まだまだ暑い日々が続きます。「もう秋ですね!」という声を聴きたい今日この頃です。しかし、この特別講座が持たれる10月下旬には、秋の深まりを覚えるころと思います。今年4月に入学された兄弟も神学生として様々な体験と学びをしております。神学生の学びと奉仕は、諸教会のお祈り、ご支援、ご協力のもと落ち着いた神学校生活を送ることができております。

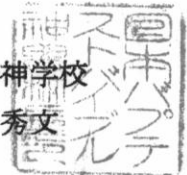
さて、きたる10月31日(火)～11月3日(金)に、秋期講座とオープンカレッジを開講いたします。今年は、昨年よりは制限を緩和した開講となっておりますが、感染症対策はいたしますので、ご協力のほどお願いいたします。

神学校の働きは、「みことばから出て、みことばに規制され、みことばによって視野を広げ、みことばに帰る」そんな信仰の指導者であり、主にお仕えする人材を養い育てるところと心得ております。教役者を始め、兄弟姉妹方には、時間的・金銭的な犠牲を払って頂くこととなりますが、多くの皆様にご参加いただくことを願っております。

2023年9月28日

日本バプテスト聖書神学校

校長 斎藤 秀文



記

\*日時：2023年10月31日(火)～11月3日(金) (4日間)

\*会場：日本バプテスト聖書神学校講堂

\*開講講座：

秋期講座 10/31(火)～11/1(水)

講義内容：「次世代を育てる教会教育」

講師：鹿毛愛喜師(港北ニュータウン聖書バプテスト教会)

オープンカレッジ 11/2(木)～11/3(金)

講義内容：「神の創造と科学」

講師：白井清之師(希望の丘聖書バプテスト教会)

(2講座の内容は別紙をご覧ください)



# 講義内容

## 秋期講座 「次世代を育てる教会教育」

鹿毛愛喜

教会がコロナ禍を通過し、教会が大きな変化の時期を迎えています。教会はこの変化に動揺しないで、踏みとどまろうとしてきたのかもしれませんが。しかし、一方でどれほど私たちはこの変化の時期をとらえ、変えられてきたでしょうか。

昨今、教勢の停滞、献身者の減少、牧師の高齢化、若い牧師の疲弊、無牧化、教会閉鎖など、教会は深刻な事態に立たされています。今、教会は「私たちはこれからも神の言葉に立っていけば良いのだ」と叫ぶことではなく、「私たちは次の世代と共にこの時代において神の言葉に立ってどう生きるのか」が問われているのではないのでしょうか。

私たちは教会がこれからも教会の働きを継続していくために、今福音の恵みによって活力をもって教会を形成するために、教会が一刻も早く次世代に目を向けることが大きな鍵です。今回、秋季講座において「次世代を育てる教会教育」という切り口から、ご一緒にこれからの教会形成、次世代の育成、日本宣教を見つめていきたいと思います。

### ①「次世代を育てられない教会形成（問題提起）」

かつては教会にも若者が溢れていた。現在、牧師の高齢化、教会の高齢化は顕著である。教会に次世代がないわけではない。しかし、どうして次世代を獲得し、育てることができないのか。私たちは頻りに立ち止まって自教会の教会形成を見直さなければならない。

### ②「次世代に継承されるべき福音」

教会は骨を折って、神の言葉を語り、福音を語り続けている。しかし、福音が福音として次世代に届いているのかということは問わなければならない。新しい福音が必要なのではない。福音は世代を超えて救いを与え、次世代を変革する神の力であることを再認識する。

### ③「教会形成における全体像」

教会は特定の年齢層に偏った教会形成に陥りやすい。常に牧師の世代が多いという傾向がある。これは牧師に偏った教会形成がなされている証拠ではないだろうか。教会を形成するとは牧師による務めではなく、教会全体による有機的な活動であることを確認する。

### ④「次世代を育てる教会教育（I）次世代と共に、次世代が生きる」

教会が次世代に対する苦手意識を持っている。「教会に若者が来てもつまらないだろう」「どうせ継続して定着することはないだろう」と高を括っている。教会が次世代と共に生きるとはどういうことか、次世代が生きる教会教育を考える。

#### ⑤ 「次世代を育てる教会教育（Ⅱ）次世代を育て、次世代が次世代を育てる」

次世代に対して徹底した信仰教育を行わない教会が多い。次世代が神学的思考を構築し、明確なキリスト者としてのアイデンティティが形作られ、聖書的世界観に生き始めるならば、教会は大きな変化を経験する。次世代に対する教理教育と牧会という視点を取り上げる。

#### ⑥ 「次世代が喜んで生きる教会（まとめ）」

教会は常に次世代に目を向ける。そこに、現在の教会の姿、そして教会の将来像を知ることができる。次世代に福音が届き、次世代と共に生きる教会は、未来を生きる教会である。ここに閉塞感はない。現在の山積する課題の一つの突破口を見出したい。

## オープンカレッジ 「神の創造と科学」

白井清之

オープンカレッジでは、「神の創造と科学」と言うテーマで、2日間に亘り9時限で講義する予定です。

特に今回は、上記のテーマに基づいて、「有神論的世界観」と「無神論的世界観」の違いを、講義の前編においては「宇宙論」から、講義の後編においては、「生命論」の観点から語って行きたいと考えています。

「宇宙論」においては、ルネッサンス前後の西欧の宇宙論であった「天動説」から、「地動説」へと転換して行く歴史的、科学的な推移を説明し、その後の科学の発展と共に現れた「ニュートンの万有引力の法則」、「アインシュタインの相対性理論」、そして近代の「宇宙膨張説」など、科学の発展と共に変遷して行く「無神論的な宇宙論」の見解と、聖書の啓示に基づく「有神論的な宇宙論」の相違を論じる予定です。また、後半の「生命論」においては、非キリスト教的な世界観である「ダーウィンの進化論」から、リチャード・ドーキンスなどによる「無神論の生物学」の見解に対して、キリスト教の観点から、「神の創造に基づく生命論」を弁証して行く予定です。

私は、神学校の授業で「組織神学Ⅱ」（創造論と人間論）、「思想史」、「弁証学概説」を担当していますので、それぞれの授業との関連で、この講義を展開して行きたいと願っています。是非、興味のある方は、神学生と共にオープンカレッジの学びに参加して頂けたら感謝です。

## ご参加にあたって

### 1、参加可能人数について

- (1) 講座参加人数は、申し込み先着順に、30名までとさせていただきます。
- (2) 神学校での宿泊：申し込み先着順に、8組・24名までとさせていただきます。

### 2、オンライン配信について

講義は、対面と共に、オンライン配信を併用する形で行います。

オンライン参加をご希望の方は、配信のためのメールアドレスを添えてお申込みください。

### 3、参加費用

#### (1) 受講料

秋期講座は受講料(一律5千円)を頂きます。オープンカレッジ受講料は無料です。

#### (2) 食事代、宿泊代

朝食 350円、 昼食 500円、夕食 450円、 宿泊1泊1,500円。

### 4、参加お申込み方法

別紙のお申込み用紙に必要事項をご記入の上、神学校宛てにFAX(0267-46-5203)または、Eメール(jbbf.jbbc@gmail.com)にてお申込みください。

(お申し込み期限 2023年10月23日(月)必着でお願いいたします)

### 5、講義DVD、CDについて

ご希望の方には、後日、講義のDVDまたはCDの郵送が可能ですので、その旨、神学校事務室までお知らせください(講座ご参加の方は、お申し込み用紙にご記入ください)。

DVD、CDの費用として、送料と実費(秋期講座1セット1,000円、オープンカレッジ1セット1,000円)をご負担願います。

ただし、秋期講座を受講(対面/オンライン)された方は、秋期講座のDVDまたはCD1セットが無料となります(その場合、送料のみご負担願います)。

### 6、感染症対策について

- (1) マスクの着用は自己判断でお願いします。マスク無しで至近距離の会話の場合には、手で口を覆うなどの対策をお願いします。食事時はついたてなどの対策をいたします。
- (2) 軽井沢は寒さを感じる季節となりますが、窓の換気にご理解をお願いいたします。
- (3) こまめに手洗い、うがい、手指消毒のご協力をお願いいたします。
- (4) 宿泊が相部屋となる場合には、同じ教会か、ご家族同士とさせていただきます。
- (5) 当日風邪症状など体調が優れない方は、参加をご遠慮下さいますようお願いいたします。